



北海道大学病院
高度先進医療支援センター

News

高度先進医療支援センターNEWS

第 86 号 2011 年 7 月 12 日



北の大地にも、本格的な夏がやって参りました。

今回は「本院における新規治験受託の現状について」等、記載しております。

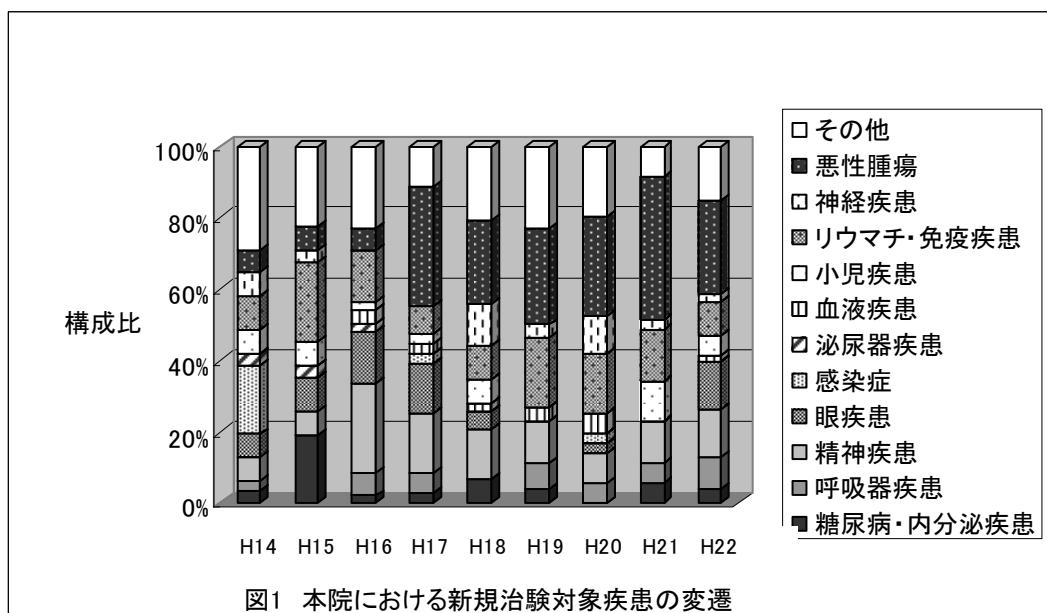


●本院における新規治験受託の現状について●

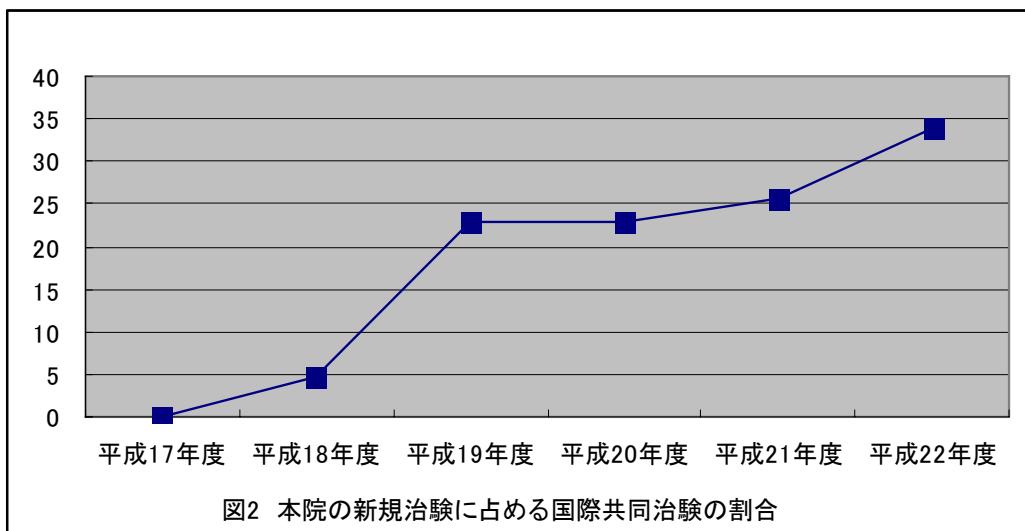
新薬開発が生活習慣病治療薬からアンメット・メディカル・ニーズ 領域の治療薬にシフトしつつありますが、本院でもこの十年で治験の受託傾向が大きく変化しております。

2000 年代初頭は高血圧、高脂血症、糖尿病等の生活習慣病を対象にした治験も実施されていましたが、直近 5 年では悪性腫瘍や難治性疾患を対象にした治験がかなりの比率を占めるようになりました。また、リウマチの治療薬を先駆けとして抗体製剤の治験も年々増加傾向にあります。

このように大学病院には難治性疾患を対象にした治験や治験薬の特性上、被験者の安全管理に十分な配慮が必要である治験が委託される傾向を如実に示しております。(図 1)



一方、医薬品開発がグローバル化するとともに、この数年、ドラッグラグ解消の切り札として国際共同治験が増加傾向にあります。本院でもそれを裏付けるように国際共同治験が年々増加し、昨年度、新規治験の受託の35%を占めるまでになりました。(図2)



今後、本邦においてもアンメット・メディカル・ニーズ 領域の治験が一段と増えるとともに開発体制の変化により、国際共同治験がますますその比重をましていくことが予想されます。本院でも開発ニーズを汲み取り、これらの治験をスピーディーに実施できる体制を整える事によりドラッグラグ解消の一助となるように努力していきたいと存じます。

●事務局からのお知らせ●

■ I R B 開催予定日 ■

7月19日（火） 15：00 より

■会議室状況■

7月中のご予約は、ほぼ一杯になっております。
翌月8月からのご予約も承っておりますので、SDV・アポイント等のお申込みの際には、お早めにお問い合わせくださいますようお願いいたします。

ホームページ：<http://www2.huhp.hokudai.ac.jp/%7Eetc-w/>
お問い合わせ・配信変更等：電話 011-706-7061